



評価の項目	今年度の重点目標	具体的取組	主担当	現状及び取り組み状況	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	備考	判定結果(中間)	判定結果(最終)	今後の改善策
①教育課程 学習指導	対話を通して考えを深める児童を育成する。	児童が対話を通して、自分の考えをもったり、考えを深めたり、新たな課題に気づき解決に向かい意欲的に取り組めるような授業を行う。	学力づくり部	本校では、対話を通して、考えを深めるということに課題がある児童が多い。対話を行わせても、分かっている児童の発表会になってしまうことが多い。そこで、今年度からは児童が対話をしたくなるような授業展開や発表することの良さに気が付けるようなしなかけを行っている。	[満足度指標] 児童が対話を通して、自分の考えをもったり、考えを深めることができたと感じている。	友だちと対話を通して、学びが深まったと感じている児童の割合 A: 90%以上 B: 80%以上 90%未満 C: 70%以上 80%未満 D: 70%未満	7月と12月に児童にアンケートを実施			
②生徒指導	いじめのない、やさしさあふれる学校づくりに努める。	毎月の学校生活アンケートの実施、相談活動などを通して、いじめの未然防止と早期発見・対応に努める。さらに、生徒指導の三機能を生かした指導を、教職員全員が徹底して取り組む。	心づくり部	いじめは小さな芽で摘むという認識の下、いじめを認知した時は組織的に対応を行い、指導後も複数の教職員で見取りを行っている。自己肯定感を高めることによって、他人に対する思いやりの心も育てていきたい。	[満足度指標] 自分には良いところがあると考えている。	自分には良いところがあると答えた児童の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7月と12月に児童にアンケート実施			
	主体的にクラス、学校をよりよくしようとする児童を育成する。	児童が主体となって、目標やルールを設定して、行きたい学校づくりに努める。また、児童会活動や縦割り活動を積極的に進行。		学級目標を日々ふり返り、短期目標を設定して児童の達成感と主体性を育むんできた。今年度は、さらに児童会活動や縦割り活動を活性化することによって、児童の主体性を育てていく。	[満足度指標] 毎日の学校生活や児童会活動に、目標をもって、最後まであきらめずに取り組むことができたか。	毎日の学校生活や児童会活動に、目標をもって、最後まであきらめずに取り組むことができた児童の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7月と12月に児童にアンケート実施			
③キャリア教育 進路指導	キャリア教育の推進に努める。	学期ごとに自分で目標を設定し、学期末に自己評価する。	心づくり部	前向きに活動している児童は多いが、自身の姿容や成長を自己評価し実感できている児童は少ないと思われる。キャリアパスポートを活用し、自己評価を行い、主体的に学びに学びに向かう力を育てる。	[満足度指標] 学期ごとに目標を決め、達成に向けて頑張ることができている。	自分で決めた目標の達成に向けて頑張ることができたと答えた児童の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7月と12月に児童にアンケート実施			
④保健管理	望ましい生活リズムを身に付け、規則正しい生活習慣の向上を目指す。	ネットモラルやメディアコントロールについて生徒指導と連携し指導の機会を設ける。学校保健委員会の議題としても取り上げる。	体づくり部	実態として、早寝・早起きの習慣が身につけていない児童が増えている。その大きな要因として、メディア使用による寝不足が挙げられると思われる。行動変容につながるような取り組みが必要となる。	[成果指標] メディアコントロールを意識して、早寝・早起きを実践しているか。	実践していると答えた児童の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	6月と12月に児童にアンケート実施			
	体力づくりや体育の授業を通して、運動能力の向上を図る。	体育の学習を通して、運動能力、特に走力の向上を図る。(リズムアップトレーニング・スポチャレいしかわの取り組み)		継続的に体力作りや学年の取り組みは行われているが、走りに課題がある。令和4年度のスポーツテストでは50m走のタイムが2学年で県平均を下回っていた。ICT機器の活用、スポチャレいしかわへの積極的参加を通して、走力の向上を目指す必要がある。	[成果指標] 体力づくりや体育の授業を通して、走力を向上させることができたか。	50m走のタイムが、1回目(5月)よりも2回目(10月)の方が上回った児童の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	5月と10月に50m走の測定実施			
⑤安全管理	火災・不審者・地震・水害を想定した避難訓練を実施し、児童の危機対応力、教職員の危機管理能力を高める。	火災を想定したもの、不審者を想定したもの、地震・水害を想定したものをそれぞれ1回ずつ実施し、関係機関と緊密に連携していく。	教頭各担当	消防署や警察署、こども園と連携をとり、児童の判断力や危機意識をさらに高める。引き渡しカード、危機管理マニュアルやアクションカードの見直しをしていく。	[成果指標] 児童自らが判断しなければならない避難訓練を実施し、成果を出している。	火災や地震、不審者などとの遭遇時に、児童自らが判断し、行動に移すことができた児童の割合が A: 100%以上 B: 90%以上 C: 80%以上 D: 80%未満	7月と12月に児童にアンケート実施			
⑥特別支援教育	児童の特性に寄り添った支援の組織的支援体制の確立に努める。	支援を必要とする児童及びその保護者に対して、校内支援委員会で児童の特性に寄り添った支援の在り方を検討し、SCや専門相談員等とも連携し組織的に支援に取り組む。	心づくり部	特別な支援の必要な児童及びその保護者に対して、校内支援委員会で児童の特性に寄り添った支援を検討し、専門機関とも連携して組織的に支援をしていく必要がある。	[努力指標] 支援を必要とする児童及びその保護者への支援について、児童の特性に寄り添い、組織的に支援している。	支援の必要な児童及びその保護者に対し、組織的に支援できたと答えた教職員の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7月と12月に教職員にアンケート実施			
⑦組織運営 業務改善	組織の横のつながりを活性化や効果的・効率的な業務改善を図る。	学校経営ビジョンの具現化に向けて、分掌部会を充実させるとともに、主任会で話し合い、チームとしての力を高める。	教務教頭	職員は協力的であり、組織的・効率的に動く意識は高い。学校運営ビジョンの実現に向けて、各部会ごとの取組について横のつながりを重視し、一致して活動していく必要がある。	[努力指標] 学校運営ビジョンの実現に向けて、自己の部会だけでなく、他の部会の取組についても理解し、組織的に学校運営に参画している。	学校運営ビジョンの実現に向けて、3部会の取組を理解し、組織的な取組んだと答えた教職員の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7月と12月に教職員にアンケート実施			
⑧研修	様々な研修に積極的に取り組み、教員としてのスキルアップを図る。	校内研修会や研究授業、授業交流、外部講師の活用など、積極的に行い、授業改善に取り組む。	学力づくり部	研究授業や様々な研修会を実施し、教職員は積極的に取り組んでいる。研修で学んだことを実際の授業や学級経営などに活かすことが必要である。	[努力目標] 積極的な姿勢で研修に取り組み、学んだことを実際に活かすことができている。	積極的に研修に取り組み、授業や学級経営、生徒指導など実際に活かすことができた教職員の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7月と12月に教職員にアンケート実施			
⑨保護者 地域との連携	教育活動の発信に努め、保護者、地域と連携し、開かれた学校づくりをめざす。	学校だより、学年便り等各種便り、ホームページ等で学校や児童の様子を知らせるとともに、地域や保護者と連携した教育活動を推進する。	教頭各担当	各種便りは定期的に発行されている。ホームページで学年の取り組みなどを随時紹介している。コミュニティスクールは、今年度からの取り組みになるが、コーディネーターとの連絡を密にしながら、地域との結びつきを高めていきたい。	[満足度指標] 学校は、保護者や地域との連携を密にし、地域に根ざした児童の育成を進めている。	地域に根ざした児童の育成を進めていると感じている保護者の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7月と12月に保護者にアンケート実施			
⑩教育環境 整備	児童が安全で安心して学校生活を送れるよう、教育環境整備に努める。	計画的に校舎内外の整備に努め、学習しやすく働きやすい環境づくりに努める。学期に一度の管理場所の安全点検を通して、不備な箇所の施設の修繕を行う。	総務各担当	安全点検と早期の修繕を実施しているが、校舎の老朽化に伴い、恒常的に不良箇所が発生している。運動場の改修、エアコンの全室配備などにより、環境の改善が期待される。	[努力目標] 教育環境の整備に積極的に取り組んでいる。	教育環境の整備に積極的に取り組んでいる職員の割合が A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	7、12月に教職員にアンケート実施			

学校関係者評価	
---------	--